

○令和5年7月27日（木）13:30～15:30 栃木県総合文化センター  
特別会議室で開催

○参加者 会場：約200人 WEB：約230人

○挨拶 栃木県知事、国土交通省 関東地方整備局長

○基調講演 東京大学大学院工学系研究科 羽藤教授「首都圏を取り巻く地方への期待」

○パネルディスカッション『首都圏直下地震時の広域支援と栃木県の役割』

主催：関東地方整備局宇都宮国道事務所・栃木県  
後援：栃木県市長会、栃木県町村会、栃木県地域  
づくり機構、栃木県民公園福祉協会、とちぎ建設技術センター、栃木県防災士会、栃木県建設業協会、栃木県測量設計業協会、足利銀行、栃木銀行、宇都宮大学、作新学院大学、作新学院大学女子短期大学部、宇都宮共和大学、下野新聞社、とちぎテレビ、栃木放送、エフエム栃木

#### ■開催状況



受付状況



展示状況

#### ■挨拶



栃木県 福田知事

「東北地方と首都圏をつなぐ地理的優位性を生かし、首都機能のバックアップの認識を新たにするとともに、災害に強く安心に暮らせる組織の実現を目指していく」



関東地方整備局 藤巻局長

「火事場の馬鹿力はない。日頃から成し得ていること、自然にできることが災害時に生きてくる。わがこと化を意識いただきたい」

#### ■基調講演

「首都圏を取り巻く地方への期待」

東京大学大学院工学系研究科

羽藤 英二教授



超高速、超自動、超分散という三つの移動革命が社会の形を変える。新しい防災文化を栃木でつくってほしい。

#### ■パネルディスカッション

#### 『首都圏直下地震時の広域支援と栃木県の役割』

- コーディネーター ◇東京大学大学院工学系研究科 羽藤 英二教授  
 パネラー ◇那須塩原市長 渡辺 美知太郎氏  
 ◇宇都宮大学地域デザイン科学部准教授 臨床心理士 白石 智子氏  
 ◇NPO法人栃木県防災士会理事長 稲葉 茂氏

#### 主な意見

- ・東京一極集中から本社機能移転等の新しい分散型社会と、国道4号4車線化等の道路交通の相乗効果は大きい
- ・首都圏の避難者を受け入れるためにも、避難所に飲み水、食料、簡易トイレを用意してほしい
- ・災害だけを目的に準備することは不合理なため、日常に災害等の非日常を関連付けられる循環備蓄（ローリングストック）の考え方が重要



羽藤教授

渡辺市長

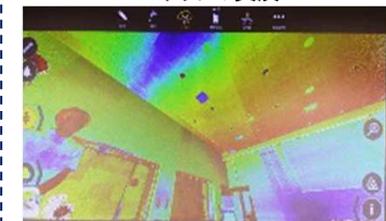


白石准教授

稲葉理事長



災害現場で安全に測定ができるロボットの实演



会場内の点群データ画像生成の様子